



家庭教育学級リーダー研修会 まとめ

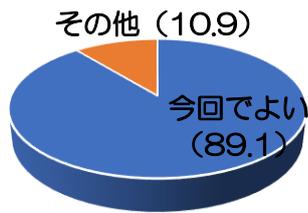
ありがとうございました!!

今年度は「乳幼保こ園」の部、「小中学校」の部、合わせて175名の方に参加いただきました。提出いただいたアンケートのまとめをお知らせします。

アンケート結果

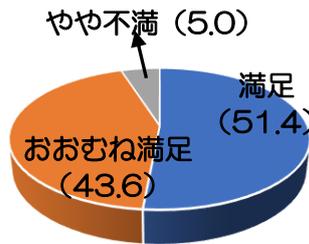


◇ 開催時期について



「今回と同じ時期でよい」が多かった。

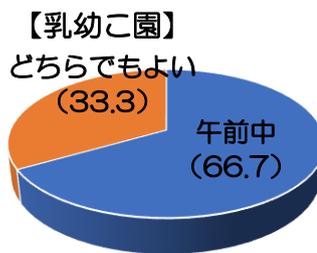
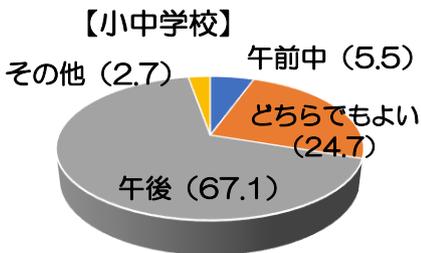
◇ オンライン開催について



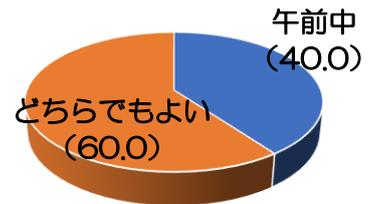
満足、概ね満足合わせて95.0%。やや不満は、音声聞き取りにくかったというもの。

◇ 開始時間帯について

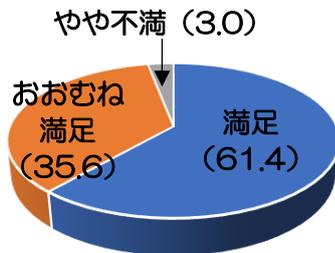
「今回と同じ時間帯」「どちらでもよい」の回答が多かった。



【地域事務所・その他】

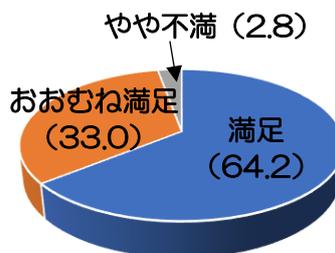


◇ 研修内容について



満足、概ね満足合わせて97%と満足度は高かった。

◇ 配信資料について



内容については満足度が高い。やや不満の2.8%は「量が多い」というもの。

ご意見やご感想は
次のページをご覧ください!



ご意見・ご感想



◇ 開催時期・開始時間帯について

- ・年間計画をたてるのにちょうどいい時期だった。
- ・リーダー研修会で学んだことを開級式に生かしたいので、家庭学級開級式前の4月のもう少し早い時期だとありがたい。
- ・終了時刻が遅いので、勤務時間の関係から16時には終えたい。



◇ オンライン開催について

- ・会場まで移動する必要がなかったのでありがたかった。(複数)
- ・研修内容がよく伝わり十分満足だったので、今後もオンラインでお願いしたい。(複数)
- ・子どものお迎えの心配や仕事の調整が少なく済んだため、今後もオンラインにしてほしい。
- ・学校に集まって、担当の先生や他の委員の方とゆっくり話すことができよかった。
- ・年度初めて様々な行事があり、参集型の研修に参加するのは負担が大きいので、オンラインの研修は大変ありがたい。
- ・音声聞き取りにくくて、分かりにくかった。
- ・ZOOMでなかなか承認されず30分くらいオンラインがつながらなかった。でも、途中からでも概要はだいたい理解できた。

◇ 研修内容について

- ・説明が丁寧で、実践事例の紹介が多くあって分かりやすかった。(複数)
- ・初めてリーダーとなった保護者にとって、分かりやすく、今後何をしていけばいいのか、イメージが持てる研修会だった。(複数)
- ・他校の取組を聞くことができ大変参考になった。(複数)
- ・気軽に質問できる雰囲気があってありがたかった。
- ・ペープサート(紙人形劇)で分かりやすく説明してもらえたので、よく理解できた。
- ・すぐに活用できたり計画に取り入れられたりできる情報がまとまっていた。
- ・説明の口調が早くて、聞き取りにくい時があった。



◇ 配付資料について

- ・事前に、たくさんの資料を2部ずつ用意して配付していただけてありがたかった。(複数)
- ・QRコードやURLなども載っていたので分かりやすかった。(複数)
- ・昨年度の実践例や講師情報等が載っており、参考にできた。(複数)
- ・説明だけでは初めてなので分からないことが多かったが、資料が丁寧で助かった。

その他

- ・今後も、美濃地区と市の同時開催を続けていただきたい。
- ・PTAフォーラムでの話とかぶるところが多くある。このリーダー研修会のみでいいと思う。
- ・アンケートをオンラインにしてはどうか。Google Formsを使うと便利だと思う。SDGSの観点からもぜひ。

貴重なご意見を、どうもありがとうございました。来年度に向けて、さらに改善に努めます。



地域の中の子育て支援



園や学校、市で開かれる家庭教育学級の他に、それぞれの地域でも、子育てについて学んだり保護者が交流したりする場がいくつもあります。



今回は、中濃地区3市で行われている乳幼児学級の一部を紹介します。

～あひるさん・パンダちゃんの会(美濃市)

美濃市中有知(なかうち)地域の主任児童委員が主催されている子育てサロンで、未就園児の親子が遊びやイベントを通して楽しく交流できる場が提供されています。当日、誰もが気軽に参加できるように、あえて申し込みは無しにして、他地域からの参加も受け入れてみえます。この会は20年以上も続いており、コロナ禍でも決して活動を止めることなく、子どもたちの遊びの場、子育て世代の保護者の集いの場になっています。



この会は、「けろたん」という主任児童委員さん手作りのマスコットが出てくる「けろたんパペット劇場」が大人気です。また、お土産の「お菓子ブーケ(写真参照)」も、可愛らしくラッピングされていました。最近、口コミとSNSでの発信の成果もあって、近隣市町村からの参加もあるそうです。この会を卒業した保護者の方や、子育てを終えた先輩ママさんも、ボランティアとしてお手伝いに入っておみえになり、感謝が感謝を呼ぶ思いの連鎖とその広がりを感じました。



～伝々夢詩 でんでんむし(郡上市)～

郡上市八幡地域で開催されている乳幼児学級で、未就園児の親子が遊びやイベントを通して楽しく交流できる場が提供されています。活動内容には「水遊び」や「ハロウィン散歩」「ミニ運動会」など季節の行事や、「お神楽」など郡上市ならではの企画もされてきました。

親子2世代続けて「でんでんむし」でお世話になっているという保護者もみえて、保護者も「〇〇ちゃん」などと呼ばれている雰囲気がとてもほほえましく感じられました。



当日は、「手形・足形カード作り」から始まり、親子で一緒に楽しむ「親子体操」や「マンツーマンお話会」等、ゆったりとした雰囲気の中で行われていました。特に素晴らしいと感じたのは、参加されているお母さんたちと一緒に「どんなことやりたい?」と歓談しながら、年間計画をその場で決めていかれたことです。自分たちがやりたい活動ができる「参加者主体の乳幼児学級」は、参加される方々にとって大きな魅力だと思いました。



～いちご学級（関市）～



関市の生涯学習課が主催する満6ヶ月児から未就園児のお子さんを持つ保護者のための学級で、ベビー組とキッズ組があります。今年度は「バランスボール」や「クラフトボール作り」「わかくさプラザ探検」などの体験や講演会を計画してみえます。シルバー人材センターの協力で託児も依頼できるので、保護者が安心して講演会などに参加できるようになっています。



当日は、ベビー組の開級式で、講師の先生の音楽に合わせて、自己紹介やリズム運動をして交流を深めました。いちご学級の素晴らしさは、お母さんだけにとどまらずお父さんのために、6月の日曜日に「父親の子育て参加～父親の役割について～」という特別講座が計画されていることです。父親の育児休暇取得が推奨されています。今後、乳幼児学級は、もうお母さんだけのものではなくていくのですね。

取材を終えて

◇配慮されていたこと

- ・密を避けられるだけでなく、子どもたちが自由に動き回れる広い場所がある地域のコミュニティーセンター（畳やじゅうたん敷き）や体育館（武道場）等を会場とされている。
- ・当日、誰でも気軽に参加できるように、参加者の地区を限定せず、市内在住の親子であれば誰でも参加できるようになっている。（美濃市は市外でもOK）
- ・参加されたお子さんの年齢は赤ちゃんから幼児までと様々でしたが、どの親子も楽しく参加できる魅力的な活動内容とされている。
- ・市の広報だけでなく、独自のチラシやInstagram等を活用して、活動を周知している。



◇取材を終えて

どの会のスタッフの方からも、「保護者や子どもたちに喜んでほしい！」という情熱を感じました。そして、愛情いっぱいの笑顔で保護者に声をかけてみえる温かい雰囲気印象的でした。これらの会が、子育て中の保護者の方や子どもたちが互いにつながり、安心して交流したり学んだりできる貴重な場となっていることがよく伝わってきました。



最近、乳幼児学級の参加者は、出産後1年で職場に復帰するお母さんが増えたことなどによって、減ってきているということがあります。働きながら子育てを頑張るお母さんを支えるためにも、今後は企業内や、園や小中学校の家庭教育学級の工夫や充実が求められることを感じました。

こんな方法もありますよ

夏休み「在宅取組」のススメ

家庭教育学級の役員さんや担当の先生方は、夏休みに行く「在宅取組型」の活動を考えておられる頃ではないでしょうか。

今月号では夏休みの取組として、“動画を活用した在宅取組”を紹介します。

☆ 「家庭教育動画」を使った在宅取組の活動例

◇◇ 「読み聞かせ・親子読書」 ◇◇



【対 象】 幼児～小学校中学年の保護者

【方 法】 夏休み前に、読み聞かせ（または親子読書）のカード（読んだ本の題名や親子それぞれの一言感想を記入するもの）と、以下の手順を示した保護者向けのお便りを配付する。

- ① 保護者は下の「家庭教育について学ぶ動画」（YouTube）を視聴する。



環境生活政策課公式 YouTube
（読み聞かせのよさ）

- ② 読み聞かせをする本（または親子で読む本）を決める。
- ③ 読み聞かせや読書の大切さを知った上で、家庭で読み聞かせ（親子読書）を行う。
- ④ 読み聞かせ（親子読書）で読んだ本やひとこと感想をカードに記入する。

◇◇ 「働くことは社会的自立の第一歩」 ◇◇



【対 象】 小学校高学年～中学校の保護者

【方 法】 夏休み前に、取組カード（「みんなで子育て3」P154 参照）と、以下の手順を示した保護者向けのお便りを配付する。

- ① 保護者は下の「家庭教育について学ぶ動画」（YouTube）を視聴する。



環境生活政策課公式 YouTube
（働くことは社会的自立の第一歩）

- ② カードを使い、親子それぞれが子どものよいところや将来の夢について話し合う。

県の家庭教育動画には、他にも、「スマホのルール」など、夏休みに家庭で行う情報モラルの取組に活用していただけるものなどがあります。

また、冊子「みんなで子育て」や県・中濃県事務所のHPには、そのまま使っていただけるカードや資料が満載ですので、ぜひご活用ください。

